平成30年度　市政アンケート調査　集計結果活用状況

（平成31年３月末時点）

	テーマ （担当課）	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第1回	「熱中症対策」について （環境局　環境保全課）	・問7で尋ねた「熱中症予防の参考となる情報の入手経路」や，問8で尋ねた「熱中症対策で知りたいこと」の回答結果などを踏まえ，広報手段や広報資料（リーフレット，熱中症予防カード）の見直しを行った。 ・熱中症予防のための取り組みを拡充するための基礎資料として，熱中症に対する意識や行動が，前回（H28）調査からどのように変化しているかや年齢・性別でどのように異なるかなどを関係部局と共有し，調査結果を活用した。	・暑さ指数計を活用した高齢者見守り活動支援や，高齢者向けリーフレットの作成など，高齢者の熱中症予防対策を強化していく予定である。 ・熱中症予防のための情報を広く周知するため，熱中症予防リーフレットを市政だより（2019.7.15号）折込にて全戸配布する予定である。 ・出前講座「熱中症にご用心！」において，市政アンケートの結果を抜粋して紹介する予定である。
	「環境保全の意識」について （環境局　環境政策課）	・「環境保全活動の実施状況」や「環境活動への参加状況」の調査について，「福岡市環境教育・学習計画（第三次）」の成果指標の数値として活用した。 ・「自然保護活動」，「環境美化活動」や「生きものの種類や数，生息する場所に関する関心・情報」の調査について，生物多様性ふくおか戦略の推進業務の基礎資料として活用した。 ・「大気汚染や水質汚濁，騒音・振動など公害問題に関する関心・情報」の調査について，公害対策業務の基礎資料として活用した。	・「福岡市環境教育・学習計画（第三次）」の成果指標の数値として調査結果を活用するとともに，調査結果をもとに環境保全に関する広報・啓発を行う。 ・生物多様性の重要性を社会に浸透させるため，市民の認識や環境活動へのニーズを把握し，今後の事業への検討材料として活用していく予定である。 ・公害問題に対する市民の関心の高さおよび有用な情報を得ているか把握することにより，市民のニーズに合わせた広報を行う。
	「選挙」について （選挙管理委員会事務局　選挙課）	平成29年アンケート調査の結果を参考にして，平成30年執行の福岡市長選挙において，市内2大学の大学祭での選挙啓発を実施するとともに，市内4大学で期日前投票所を開設した。	平成31年執行の参議院議員通常選挙において，啓発事業の内容を検討していく上での基礎資料として，調査結果を活用する予定である。
	「浸水対策」について （道路下水道局　下水道事業調整課）	「雨水整備Doプラン2026」を策定するための基礎資料として，調査結果を活用している。 また，同上プランのパンフレットに調査結果を掲載している。	
	「NPOやボランティアなどの市民公益活動」について （市民局　市民公益活動推進課）	「市民公益活動の推進に係る施策　基本方針」に基づく施策の推進のための経年的な基礎資料として活用している。	NPO・ボランティア活動に参加しやすい環境の整備や寄付による社会貢献の促進など，市民公益活動の推進に係る各種施策の見直しのための基礎資料として活用する。

	テーマ （担当課）	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第２回	「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について （住宅都市局　みどり政策課）	・「セントラルパーク基本計画」策定の基礎資料として，調査結果を活用している。 ・「セントラルパーク構想」は，県をはじめ，市の公園，文化財，観光部署など複数の関係部署が密に連携しながら取り組みを進めている。調査結果は，関係部署と共有し，各部署における事業実施の際の基礎資料として活用している。 ・季節の祭りについては，現在も将来も共通して利用ニーズが高いとの調査結果を踏まえ，福岡城さくらまつりや福岡城梅まつりなど，既存イベントの内容を充実させるとともに，多様な民間イベントの受け入れ，季節を通じた賑わい創出に取り組んでいる。 また，春，夏，秋の季節のイベントをパッケージ化したイベントガイドを作成するなど，情報発信についても強化している。	「セントラルパーク基本計画」の成果の進捗管理や各種事業を検討する際の基礎資料として，調査結果を活用する予定である。
	「『食』の安全・安心」について （保健福祉局　食品安全推進課）	・「第９次福岡市基本計画」施策３－７の成果指標として活用している。 ・「福岡市保健福祉総合計画」健康・医療分野 基本目標3の成果指標として活用している。 ・「平成31年度福岡市食品衛生監視指導計画」策定の基礎資料として調査結果を活用した。	福岡市食品衛生監視指導計画策定，食の安全安心に係る市民啓発事業のテーマ選定時の基礎資料として調査結果を活用する予定である。
	「食育」について （保健福祉局　健康増進課）	「第3次福岡市食育推進計画」の成果指標の数値として活用した。	・「第3次福岡市食育推進計画」の進捗状況の把握・確認のために，調査結果を活用する予定である。 ・食育に関する取り組みの推進や検討のための基礎資料とし，普及・啓発を図っていく予定である。
	「くらしの衛生」について （保健福祉局　生活衛生課）	施設の監視・指導計画や行政検収計画策定の際の基礎資料として調査結果を活用した。	市民啓発用のチラシ・パンフレット作成等の際に，市民のニーズを探るための参考資料として活用する。

	テーマ （担当課）	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第３回	「省エネと再生可能エネルギー」について （環境局　環境・エネルギー対策課）	・住宅用エネルギーシステム（蓄電池・家庭用燃料電池・太陽光発電システム・EMS）導入促進のための施策の検討に活用した。 ・省エネ型のライフスタイルへの転換を促進する「ECOチャレンジ応援事業」のエコアクション検討時の参考資料として調査結果を活用した。	左記の「住宅用エネルギーシステム導入促進事業」や「ECOチャレンジ応援事業」により得られるデータなどと合わせて，家庭での省エネ促進や再生可能エネルギー導入拡大に向けて，効果的な施策展開を検討するための基礎資料とする。
	「福岡市の国際交流と姉妹都市交流」について （総務企画局　国際交流課）	国際交流事業・姉妹都市交流事業を企画する際の基礎資料として活用している。	姉妹都市に対する認知度が，都市によって大きく違うことから，引き続き，認知度向上を図るため，姉妹都市のPRを広く実施していく予定である。
	「情報通信の利用状況」について （総務企画局　ICT戦略課， 市長室　広報課）	・「インターネット利用について」および「福岡市の情報化について」の調査については，本市の情報化施策検討の経年的な基礎資料として活用している。 ・「公衆無線LANについて」の調査において，公衆無線LANの普及状況や，導入を推進すべき拠点を把握するために活用している。	・本市の情報化施策検討の基礎資料として，市民の情報通信技術の利用状況やニーズおよびその経年変化などを把握するために活用する予定である。 ・公衆無線LANサービス推進の基礎資料として，調査結果を活用する予定である。
	「道路整備」について （道路下水道局　道路計画課）	「道路整備計画」策定の基礎資料として，調査結果を活用している。	次期「道路整備計画」策定の基礎資料として，調査結果を活用する予定である。
	「博多湾の海底ごみ」について （農林水産局　水産振興課）	・博多湾の海底ごみ削減に向けた市民啓発事業「FUKUOKAおさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ！～」は，海底ごみ・リデュースについての市民意識の向上を成果指標としており，調査結果を基礎資料として活用している。 ・広報物の制作やイベントでの呼びかけなど，啓発を効果的に行うための参考資料として活用している。	・今後も継続して調査を実施し，事業成果を図るために活用していく予定である。 ・引き続き，広報物の制作やイベントでの呼びかけなど，啓発を効果的に行うための参考資料として活用していく予定である。

	テーマ （担当課）	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第４回	「福岡市内産農林水産物の利用（地産地消）」について （農林水産局　政策企画課）	地産地消推進事業の基礎資料として，調査結果を活用している。	ふくおかさん家のうまかもん認定事業などの地産地消の取り組みをさらに推進していく予定である。
	「福岡市の広報活動」について （市長室　広報課）	市政だよりの特集テーマの選定や，ホームページの運用等において参考とした。	今後の市政だよりの発行やホームページの運用において，調査結果を活用する予定である。
	「地域の活動やまちづくり」について （市民局　コミュニティ推進課）	問18「自治会・町内会は必要だと思うか」及び問18－1「自治会・町内会が必要だと思う理由」の結果を，自治会・町内会の活動に関する基礎知識などをまとめた冊子に掲載した。	本市のコミュニティ施策全般の検証・検討を行ううえで，基礎データとして活用する予定である。
	「受動喫煙」について （保健福祉局　健康増進課）	・平成30年度実施した「受動喫煙防止対策セミナー」の基礎資料として調査結果を活用した。 ・問23で尋ねた「受動喫煙の健康への影響」の認知度向上のため，配布用のチラシを作成し，市内の公共施設等で配布を行った。	受動喫煙防止の啓発の取り組みを推進するための基礎資料とし，市民の意識の向上を図っていく予定である。

	テーマ （担当課）	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第５回	「水道水への意識や水道行政に対する満足度」等について （水道局　総務課）	・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析し，事業参加を呼びかける有効な広報手段の検討に活用した。 ・「安全でおいしい水道水プロジェクト」の基礎資料として，調査結果を活用している。 ・渇水を経験した都市として，お客さまの節水意識を経年比較として活用した。 ・問3で尋ねた「水道水の安全性についての不安な理由」を元に，貯水槽管理に関する事業の検証とニーズの把握に活用した。	・引き続き，「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析し，事業参加を呼びかける有効な広報手段の検討に活用する予定である。 ・「水道水の安全性」など，水道水質に関するお客さまの意識の変化を経年的に把握し，「安全でおいしいプロジェクト」の取り組み状況の検証等に活用する。 ・引き続き，お客さまの節水意識を経年比較として活用する。 ・貯水槽管理に関するニーズを把握し，事業の検証とニーズに合わせた取り組み内容の検討などを行い，お客さまへ安全で良質な水道水をお使いいただけるように活用する予定である。
	「消費者トラブルおよび被害防止」について （市民局　消費生活センター）	「福岡市消費者教育推進計画」に基づく施策の推進のための基礎資料として，調査結果を活用した。	消費者トラブル被害防止の啓発や注意喚起情報の提供などの取り組みを拡充するための基礎資料とし，市民意識の向上を図っていく予定である。
	「PM2.5・黄砂」について （環境局　環境保全課）	・政策推進プラン（第９次福岡市基本計画 第２次実施計画）施策３－７の達成度を把握するために活用している。 ・問21で尋ねた「PM2.5が減少傾向にあること」の認知度や問22で尋ねた「PM2.5について知りたい情報」等の結果を参考にし，PM2.5に関する配布用チラシを作成した。	・PM2.5や黄砂等に関する正確な知識の普及啓発のための基礎資料として活用する予定である。
	「福岡市の行政運営の取り組み」について （総務企画局　行政マネジメント課）	・「行政運営プラン」に基づき，効果的・効率的な行政運営に取り組む上での参考として活用した。 ・なお，「市民とのコミュニケーションの推進」，「行政手続きの利便性向上」の満足度については，「行政運営プラン」の取組方針の指標として数値目標を定めている。	「行政運営プラン」に基づき，効果的・効率的な行政運営に取り組む上での基礎資料として活用する予定である。
	「がん検診」について （保健福祉局　健康増進課）	検診を知るきっかけが，市政だよりと同時配布の「健診ガイド」が第１位であるため，さらに分かりやすく，手元に残してもらえるような内容となるよう工夫した。	・「健診ガイド」の内容をさらに充実させていく。 ・ダイレクトメールも効果が見込めるため，さらに工夫して実施する。

	テーマ （担当課）	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第６回	「家庭ごみ」について （環境局　循環型社会計画課，資源循環推進課）	・ごみ処理基本計画の進行管理を担う指標の一つとして，調査結果を活用している。 ・調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに，ごみ減量施策の基礎資料として活用した。 ・古紙の出し方調査について，資源物減量施策の検討に活用した。 ・「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度について，同運動の成果指標として活用した。	・ごみ処理基本計画の指標であり，市民の3Rの実践度などの取り組みの状況把握に加え，ごみに関するアンケートを実施することで，新規施策の検討にも活用していく。 ・古紙の排出状況の分析から，古紙の中でもまだリサイクルへの取り組みが少ない雑がみについて専用の回収袋を作成した。今後も雑がみ回収率を確認することで，市民意識の向上を確認していく。 ・アンケートにて約8割の市民が雑がみ回収について取り組んでみたいという回答であるため，雑がみ回収袋の配布先をより市民に身近な場所へ拡大していく予定である。 ・「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の市民への浸透具合を測る資料として活用することにより，効果的な啓発手法の導入を検討していく。
	「住宅用火災警報器」について （消防局　予防課）	「住宅用火災警報器」の調査について，平成30年の市内設置状況等調査の基礎資料として活用した。また，過半数の方が住宅用火災警報器の寿命について「知らない」と回答したことから，住宅用火災警報器の維持管理に関するチラシを作成，配布するとともに，出前講座やマスメディア等での広報を行った。	「住宅用火災警報器」の設置，維持管理に対する市民の意識の傾向を把握するための基礎資料とするとともに，今後の広報の方法を検討し，市民の防火意識の向上に活用する予定である。
	「アイランドシティ」について （港湾空港局　事業管理課）	・アイランドシティに関する事業の成果指標として調査結果を活用している。 ・調査結果をアイランドシティ事業関連部署で共有し，各担当課において事業実施の際の参考としている。	アイランドシティ事業関連部署において，引き続き各事業実施の参考とする。
	「ユニバーサル都市・福岡」について （総務企画局　企画調整部）	福岡市基本計画において，「ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標の数値とするとともに，取り組みの基礎資料として活用している。	福岡市基本計画において，平成34年度の目標値を「ユニバーサルデザインの概念の理解度」70.0%，「ユニバーサルデザインの取り組みへの評価」65.0%と設定し，事業の進捗管理を行っており，引き続き，調査結果を活用して効果的な事業実施に努めていく。